Brandon リストに掲載されている主要医学図書の経時的調査

Chronological Analysis of Major Medical Books Covered in the Brandon List

青 木 仕*

順天堂大学図書館

Aoki M. : Chronological Analysis of Major Medical Books Covered in the Brandon List.
Igaku Toshokan 1991 ; 38(4)383-391.

Analyzing books covered in the Brandon List should assist libraries in their book selection policy. This study based on Brandon Lists from the 1st (1965) to the 13th edition (1989).

The following results were obtained :

- 1) The number of monographs covered in the list increased from 358 in the 1st edition to 607 in the 13th edition, the number approximately doubling.
- 2) During the 24 years between the 1st edition and the 13th, six subjects were modified, six subjects were deleted and 10 new subjects were added.
- 3) As modern medicine has come more compartmentalized, subject coverage and the number of monographs included in each have been changed considerably.
- 4) The number of serials covered in the list gradually increased from 123 titles in the 1st edition to 141 titles in the 13th without any significant change in content.
- 5) Japanese medical libraries have owned monographs covered in the Brandon List amounting to an average of less than 20% of their total collections.

I. はじめに

近年、外国の雑誌・単行書の価格は高騰が著しく、図書館ではその購入の制限が余儀なくされている。増加率の伸び悩んでいる限られた資料購入費のなかで、雑誌は継続購入が必要とされるためそのしわ寄せが、単行書の購入費の削減として表れている。そこで、現状の少額の単行書購入費で、どのようにして利用者が最も必要としている単行書を選定するか、その選書方針が今日図書館に求

められる重要な課題のひとつになってきている。

我が国の場合、近藤が世界の主要生物医学関係二次資料6誌から、コア雑誌リストを作成している。¹⁾ 井出らは日本の医学図書館の外国雑誌コレクションの現状を調査している。²⁾ このように雑誌に関しては、Science Citation Index の Journal Citation Reports に提示してある Impact Factor を用い、現在、ある程度の客観的評価が行える。しかし、日々おびただしく刊行される単行書の選書については、その評価にむずかしいものがある。

そこで、今回は医学図書館員であれば、一度は耳にしたことがあると思われる Brandon リストを用いて、その掲載図書の分析を試みた。このリストを調査していくことによってアメリカの医学研究の歴史的動向や、主要医学図書の変遷が把握

* Manabu AOKI : Juntendo University Library. 2-2-26,
Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113, Japan.

でき、選書方針を決定する上で役立つのではないかと考えた。

II. Brandon リストについて

Brandon リストはライブラリアンである Alfred N. Brandon が、米国医学図書館協会の機関誌 Bulletin of the Medical Library Association (Bull Med Libr Assoc) 53巻 (1965年) から隔年にわたり、アメリカの小規模医学図書館を対象に単行書と雑誌リストを選定し掲載しているものである。³⁾ リストには実際に購入する場合を考慮にいれて、おのおの単行書と雑誌の価格や、それらの総額の経時的な上昇率、そのほか取次店の所在にいたるまで毎版詳解している。このリストは今年発行された最新号を含め26年間にわたり、14回改版されている。そして、このリストはアメリカ病院図書室で組織されている Joint Commission on Accreditation of Healthcare Organizations (JCAHO) 等に所属する病院図書室で有用な資料として利用されている。

表 1. Brandon, Alfred Northrup の履歴

CAREER

1922	September 10, Ogden (ユタ州)
1946-48	Asst. Libn., Atl. Union Coll. (ニュー-ジャージー州)
1948-52	Head Libn., Atl. Union Coll. (ニュー-ジャージー州)
1952-53	Head Libn., Transp. Lib., Univ. of MI (ミシガン州)
1953-57	Head Libn., Loma Linda Univ. (カリフォルニア州)
1957-63	Head Libn., Univ. of KY Med. Ctr. (ケンタッキー州)
1963-69	Dir., Welch Med. Lib., Johns Hopkins Univ. Sch of Med. (メリーランド州)
1969-73	Ch. & Prof., Dept. LS, Mt. Sinai Sch. of Med. (ニューヨーク州)
1973-78	Head Libn., NY Acad. of Med. (ニューヨーク州)
1979-	Med. Lib. Consult. Daytona Beach (フロリダ州)

EDUCATION

1940-45	Atl. Union Coll., ThB(Theo.) 神学の学士
1947-48	Syracuse Univ., BS(LS) 図書館学の学士
1950-51	Univ. of IL, MS(LS) 図書館学の修士
1952-56	Univ. of MI, MA(Hist.) 歴史の修士

Who's Who in Library and Information Services. Am. Libr. Assoc. 1982. および Directory of Library & Information Professionals. Am. Libr. Assoc. 1988. を参照

多年にわたってこのリストを作成してこられた Alfred N. Brandon についてその職歴と学歴を表 1 に示した。Brandon は1922年ユタ州の Ogden に生れ、当年69歳である。7つの大学図書館に勤務した経歴を持ち、現在は退職しフロリダの Daytona Beach に住んでいる。生涯を図書館員として過し、18歳から34歳まで4つの大学で神学、図書館学、歴史について学士と修士の学位を修めている。

Brandon リストは、初版 (1965年) から 7版 (1977年) まで12年間 Brandon が単独著者になっている。彼は1979年に The New York Academy of Medicine を退職し、現在は刊行に関してのコンサルタントを務めている。リストは 8版 (1979年) から Dorothy R. Hill (Mt. Sinai Sch. of Med. の医学教育の助教授であり、収書部門の図書館員でもある) が中心となり刊行されている。医学分野の推薦リストである Brandon リストが、このように Brandon から Hill へと図書館員の手で医師が関与せず長年作成されてきた事実は、意外な結果であり称賛に値する。

そのほか、医学分野の推薦リストとしては、雑誌の選定に関して、Moll, W. が Brandon リストの中からさらに100~300床の小規模病院図書室を対象に48誌を提示している。⁴⁾ 単行書については、Allyn, R.A. によって American College of Physicians が推薦した単行書166冊と雑誌49誌を Annals of Internal Medicine (Ann Intern Med) に報告している。⁵⁾ Lewis, CS., Jr. は同誌に単行書と雑誌を51主題に分類し、単行書187冊・雑誌56誌を推薦している。⁶⁾ このように Ann Intern Med は1973年から3年おきに各専門分野の研究者により作成された推薦リストを掲載している。^{7,8)} また、Brandon と Hill は医療技術者のために Allied Health Education 委員会と American Medical Association が推薦した26分野を対象にした健康教育プログラムと歯科関連

分野のなかから、既に3回にわたり推薦単行書・雑誌リストを Bull Med Libr Assoc に掲載している。⁹⁾ この最新版には単行書435冊と雑誌76誌が掲載されている。

そのほかに、Video^{10,11)}や看護学,¹²⁾ 歯科関連¹³⁾ のリストも報告されている。

Ⅲ. 調査項目・方法

調査項目は、はじめに、①Brandon リストの初版(1965年)から13版(1989年)を調査対象とし、その収載単行書と雑誌タイトル数を集計しその変化を示した。次に、②11版(1985年)・12版(1987年)・13版(1989年)を用い収載単行書の重複冊数を調査した。同じく、③収載雑誌タイトルの重複誌数を、初版・13版を用いて調査した。④初版・13版を用い主題分野別上位収載単行書数の年代比較を行った。次に、⑤単行書について初版から13版までを用い、主題名の変更や収載冊数の顕著な増減がみられた分野の変遷について調査

を行った。最後に、⑥10版(1983年)と医学洋書総合目録(1980～1985年版)を用い両リストの照合を行い、我が国における主要医学単行書の上位所蔵館を抽出した。調査方法は、それぞれの資料をコピーし、手作業で照合を行い集計した。

Ⅳ. 結果・考察

1. Brandon リスト収載の単行書・雑誌タイトル数の変遷

図1に Brandon リスト収載の単行書・雑誌タイトル数の変遷を示す。この図からもわかるように雑誌タイトル数は、初版(1965年)の123誌から13版(1989年)の141誌へと漸増はしているが、ある程度増加を制限しているようにみうけられる。しかし、単行書については、初版の358冊から13版の607冊へと約倍増している。

3版(1969年)からは、掲載されている単行書と雑誌のなかからアスタリスクマークを付与し、より購入が必要とされる単行書と雑誌を識別でき

図1. Brandon リスト収載の単行書・雑誌タイトル数の変遷

のような試みがなされている。たとえば、3版においては単行書398冊中67冊(16.8%)、雑誌141誌中51誌(36.2%)が対象誌として挙げられている。

このような試みがなされ始めた背景としては、アメリカにおいても資料購入費の逼迫のため、リスト上からより必要とされる資料を提示することが求められたものと推察される。

2. Brandon リスト収載単行書の重複冊数の比較

時間が経過しても掲載され続ける主要単行書を調査するために、11版(1985年)・12版(1987年)・13版(1989年)を用いそれぞれのリスト上、重複した冊数を斜線で示したものが図2である。その結果、11版と12版で重複していた単行書数は215冊であり、12版と13版では、284冊であった。そのなかで、11版12版13版と通算5年間掲載され続けた単行書は、196冊であり、各版の約3分の1の冊数を占めていた。

それらの重複して掲載され続けた単行書の内容をみてみると、Harrison や Cecil の内科書をはじめ Grant 解剖学、Harper 生化学、Novak, Williams 産婦人科学、Burrows, Zinsser 分子

図2. Brandon リスト収載単行書の重複冊数

— 11版(1985年)・12版(1987年)・13版(1989年)を比較して —

生物学, Ackerman and del Regato の腫瘍学, Campbell, Shand の整形外科学, Boies 耳鼻咽喉科学, Ackerman の病理学, Nelson, Craig, Schaffer の小児科学, Goodman and Gilman の薬理学, Best & Taylor の生理学, Manson, Adams & Maegraith, Hunter 熱帯医学といったように書名に著者名を冠した単行書が数多く見出せた。たとえば、10版を例に挙げてみると559冊中これらの単行書が71冊含まれている。調査過程で判明したことであるが、このように書名中に著者名が冠せられるような単行書は、4版～5版と改版され続けると、著者名が冠せられるようである。以上のように、選書の際、購入するに値する単行書であるか判断する場合、版を重ね書名中に著者名が冠されている単行書は、重要図書としてひとつの目安になると考えられる。

3. Brandon リスト収載雑誌の重複タイトル数の比較

次に、雑誌についてはどのような状況になっているのか初版と13版を用いて重複タイトル数を照合してみたのが、図3である。その結果、雑誌については、初版の掲載タイトル123誌中92誌(74.8%)が24年間変わらずリストアップされてきたことがわかる。このように、今日新刊雑誌が次々と刊行され続けているにもかかわらず、時が経過しても各主題分野におけるコアとなる雑誌は、あまり

図3. Brandon リスト収載雑誌の重複タイトル数

— 初版(1965)・13版(1989)を比較して —

表2. Brandon リストの主題分野別上位収載単行書数の年代比較

初版 (1965年)	冊数	13版 (1989年)	冊数
Nursing	38	Nursing	55
Radiology and Nuclear Medicine	16	Surgery	37
Surgery	14	Radiology and Imaging	35
◎Dentistry	13	Pediatrics	22
Pediatrics	12	◎Ophthalmology	17
◎Dictionaries, Directo- ries, and Encyclopedias	11	◎Cardiovascular System	16
◎Anatomy	10	◎Oncology	16
Anesthesiology	10	◎Hospitals and Admini- stration	15
◎Gynecology and Obstet- rics	10	◎Psychiatry	15
◎Respiratory System	10	Anesthesiology	14
49主題分野		53主題分野	

大きく変化していないことがわかる。

4. Brandon リストの主題分野別上位収載単行書数の年代比較

主題分野別に収載単行書をみた時、どのような主題分野の単行書が多くを占めているのかその変化を初版と13版を用いて、その変遷を上位10主題分野を対象に比較したものが表2である。

最初に、この分類の特徴的な点は必携の辞書類－(Dictionaries, Directories, and Encyclopedias)や、医師認定試験のための問題集－(Licensure)や論文の書き方－(Medical Writing),そして我々医学図書館員のための－(Library Administration)などの項目も設けてあることである。このように普通我々が用いている分類に比べ趣を異にしており、広範囲に項目を設定してある点である。

表2から主題項目は初版の49主題から13版の53主題分野へと漸増して分類されている。次に、主題別単行書数をみてみると、看護学関連の単行書が初版38冊、13版55冊と両版とも1位であり数多

くを占めていることである。そのことから、アメリカにおける看護学教育のレベルの高さと、小規模病院やクリニックでの看護業務が占める地位やその役割の重要性を垣間見る気がする。Brandon リストは、このように小規模医学図書館の医療従事者全般を対象にして選書がなされていることがわかる。

また、両版の上位10位主題のなかで相違した主題に◎印を付け示してある。初版では、歯科学、辞書類、解剖学、産婦人科学、呼吸器が含まれていたのに比べ、24年後に刊行された13版では、眼科学、心臓血管系、腫瘍学、病院管理、精神学と様変わりしており、現代医学の中心主題分野の移り変りを投影している感がある。

5. 主題変更や収載冊数の顕著な増減がみられた主題分野の変遷

経時的にみて、主題名変更や収載冊数の顕著な増減がみられた主題分野について、その変遷をみていったものが表3である。リストは刊行されていくごとに時代に即した改定が試みられており収

表3-1から、3版(1969年)には Genetics の主題項目が新設され、7版(1977年)には、Dentistry 関連単行書が前版の19冊から6冊へと縮小され、我々に身近な Library Administration

の項目が削除された。増加した主題は、Pediatrics が13冊から18冊となっている。また、学問体系の確立から腫瘍（Tumors）が腫瘍学（Oncology）へと変更され冊数も増加している。8版（1979年）は、Gynecology and Obstetrics が前版から7冊

[illegible]

Ambulatory Medicine											3	5	3	
Ethics											5	9	9	8
Patient Education											4	5	6	6
Sports Medicine											5	5	6	6
Cardiology	9	10	9	9	12	16	20	23	28					
Cardiovascular System											23	23	21	16
Endocrinology	7	6	6	6	6	6	6	6	9					
Endocrinology and Metabolism											10	11	12	12
Radiology and Nuclear Medicine	16	15	13	12	10	9	10	11	18					
Radiology and Imaging											19	22	25	35
Neurology	7	7	8	7	6	7	8	8	9		13	13	15	13
1985														
Arthritis and Rheumatism	3	3	3	3	4	5	6	6	7	5				
Rheumatology												7	8	6

表 3-3. 主題変更や収載冊数の顕著な増減がみられた主題分野の変遷 (1987~89)

主題／発行年	65	67	69	71	73	75	77	79	81	83	85	87	89
1987													
Sexually Transmitted Diseases												6	3
Photography	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	3		
Hospitals	3	7	6	6	10	14	12	14	17	13	13		
Hospitals and Administration												19	15
1989													
Critical Care Medicine													10
Licensure	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	
Psychiatry	8	7	10	8	9	9	9	9	9	8	7	9	15
Surgery	14	17	21	23	27	27	28	26	35	28	23	31	37
Acquired Immunodeficiency Syndrome AIDS													7

増えている。9版(1981年)では, Family Practice と Emergency Medicine が新設されている。しかし, History of Medicine 5冊と Medical Electronics 5冊は削除された。また, Nursing は初版の38冊から改版ごとに充実が図られ8版の69冊まで漸増し続けたが, 9版では49冊と20冊削除された。しかし, その後再び増加傾向を示している。

表3-2から, 10版(1983年)は最も変化が顕著な年であり, 11主題項目が挙げられた。新設主題は, Ambulatory Medicine, Ethics, Patient Education, Sports Medicine と4項目が増設された。しかし, 外来診療に関する Ambulatory Medicine は以後3回掲載されたが13版(1989年)には削除されている。主題変更も心臓病学(Cardiology)から心臓血管系(Cardiovascular System)へ, 内分泌学(Endocrinology)から内分泌・代謝(Endocrinology and Metabolism)へと, 体内病変をイメージング診断するための画期的な技術MRI(磁気共鳴画像)の登場によって, 放射線学・核医学(Radiology and Nuclear Medicine)から放射線学・画像診断(Radiology and Imaging)へと3主題が概念領域を変更している。

目立った増加を示した主題は, 前版新設された Emergency Medicine が5冊から12冊へ, Neurology が9冊から13冊へ増加したなどが挙げられた。11版(1985年)では, 関節リウマチ(Arthritis and Rheumatism)がリウマチ学(Rheumatology)へと変更がなされている。

表3-3から12版(1987年)には, ロサンジェルス男性同性愛者がカリニ肺炎で治療を受けているという最初のエイズ報告¹⁰⁾から6年が経過し, 今日のエイズ患者の爆発的増加とその社会現象を背景にして, エイズ関連図書を含む Sexually Transmitted Diseases が新設された。そして, Photography が削除されている。そして, 病院(Hospitals)から病院管理(Hospitals and Administration)へと主題変更がなされ, 冊数の増加も図られている。13版(1989年)は, 今日, 急変する病態にも検査機器の開発や画像診断の進歩によりデータに基づいた救急医療が可能になり, その必要性から Critical Care Medicine が新設された。初版から2冊が継続して掲載されていた医師免許に関する Licensure が削除された。Psychiatry は前版の9冊から15冊へと増加し, Surgery は初版の14冊から37冊へと漸増傾向を

示している。また, Sexually Transmitted Diseases から分離し, 新たに Acquired Immunodeficiency Syndrome (AIDS) が独立し 7 冊が掲載されている。

以上みてきたように, 収載単行書の変更が顕著に行われる年度があることが判明した。そして, その傾向は特に近年著しく, このような状況は現代医療の細分化の加速現象と比例しているのではないかと考えられる。

6. Brandon リスト掲載単行書の我が国における上位所蔵館リスト

最後に, 我が国において Brandon リスト収載単行書は, どのような所蔵状況にあるのかを調査した。医学洋書総合目録(1980~1985年版)を用い, 収載されるまでのタイムラグを考慮にいれ, Brandon リスト10版(1983年)を選び両資料との照合を行った。そして, 日本医学図書館協会加盟館中の上位所蔵館10館を表示したものが図4である。その際, リスト上の専門医学分野の単行書を対象にし, Dentistry, Dictionary 類, Legal

Medicine, Licensure, Medical Writing, Nursing, Statistics の項目に収載されている単行書は除き, 42主題項目445冊を対象にして照合を行い集計した。

その結果, 慶応が318冊(71.5%)を所蔵し最も多く, 次に東女, 自治, 帝京, 日大と続き上位は私立医科大学によって占められていた。そして, 外国雑誌収集の拠点館である阪大, 東北が9位10位であった。調査対象館98館中, 1館平均82.9冊の所蔵であった。このように, 数多く所蔵している館も存在したが, 加盟館平均ではリスト収載総単行書数の20%にも満たない状況であった。

V. まとめ

Brandon リスト収載の単行書数と雑誌タイトル数の変遷をみると, 単行書数は初版から24年を経過し, 現在の収載数は約倍増している。そして, Tumors から Oncology へ, Cardiology から Cardiovascular System へ, Endocrinology から Endocrinology and Metabolism へ, Arthritis and Rheumatism から Rheumatology 等学問体系の確立や検査機器の開発, 画像診断の進歩等により主題名の変更があったり, Family Practice, Ambulatory Medicine, Ethics, Critical Care Medicine, Patient Education 等の医療の専門化, 一般化および倫理, 救急医療の発達, 慢性疾患患者に対する教育の必要性等から収載される単行書の内容も大きく変わってきている。26年間に6主題が主題名の変更をし, 6主題が削除され, 10主題が新設されている。また, 各主題の収載冊数を経時的にみていくと, それらは大きく変化している。そして, その傾向は現代医療の加速度的発展を反映し, 特に近年その変化が著しい。リストの主題範囲は, 広く医療従事者全般を対象にして選書がなされている。

次に, 雑誌タイトル数は123誌から141誌へとあ

図4. Brandon リスト収載単行書の日本医学図書館協会加盟館中の上位所蔵館

—Brandon リスト10版(1983年)と医学洋書総合目録1980~1985年版との照合—

まり増加しておらず、収載雑誌の著しい入替えはみられなかった。このことから各主題分野において、限られた図書予算のもと、最小限必要とするコア雑誌は24年前から現在も変わらず存在し、継続して刊行されていることがわかる。

Brandon リストはアメリカの小規模医学図書館が購入すべき推薦リストであるが、我が国でのその所蔵状況は医学図書館加盟館中の1館平均では20%にも満たなかった。

VI. おわりに

今回調査を通じて感じたことは、アメリカの医学図書館界が図書館員の手で、限られた紙面にもかかわらず機関誌 Bull Med Libr Assoc に、時には30ページを越すリストを20数年の長きにわたり継続して刊行しているという偉大さである。Brandon リストは、アメリカの病院図書室に勤務する図書館員にとって図書室の蔵書を構築する際に最も貴重な資料であるにちがいない。

近年、我が国においては図書予算も制限され少ない資料購入費のなかから、いかに利用者が必要としている図書を選ぶか、その選書基準が図書館員にとって重要な課題になってきている。

アメリカの場合と我が国の状況とでは一概に比較はできないが、近年我が国においても日本医学図書館協会と病院図書室との提携が提唱されている。このような状況のもと、我が国においてもBrandon リストのような資料を作成し、図書館や病院図書室の選書に指針となる資料を提示したいものである。

今後可能であれば、図書の個別チェックを行い改版されても時代を越えて生き続ける主要図書を抽出し提示できればと考えている。

(本稿は1991年6月22日、23日の両日、鳥取大学で開催された第8回図書館情報サービス研究大会においての発表に加筆したものである。)

参考文献

- 1) 近藤禎禎男 学術雑誌の評価・選択・運用. 東京大学図書館情報学セミナー研究集録. 1978; 9: 51-140.
- 2) 井出唯敬他 日本医学図書館協会加盟館の外国雑誌コレクションの現状 (1977-1982). 医学図書館 1984; 31(2): 132-44.
- 3) Brandon AN. Selected List of Books and Journals for the Small Medical Library. Bull Med Libr Assoc 1965; 53(3): 329-64. 1967; 55(2): 141-59. 1969; 57(2): 130-50. 1971; 59(2): 266-85. 1973; 61(2): 179-200. 1975; 63(2): 149-72. 1977; 65(2): 191-215. 1979; 67(2): 185-211. 1981; 69(2): 185-215. 1983; 71(2): 147-75. 1985; 73(2): 176-205. 1987; 75(2): 133-65. 1989; 77(2): 139-69. 1991; 79(2): 204-22.
- 4) Moll W. Basic Journal List for Small Hospital Libraries. Bull Med Libr Assoc 1969; 57(3): 267-71.
- 5) Allyn RA. A Library for Internists IV. Ann Intern Med 1982; 96(3): 385-401.
- 6) Lewis CS Jr. A Library for Internists V. Ann Intern Med 1985; 102(3): 423-37.
- 7) Huth EJ. A Library for Internists VI. Ann Intern Med 1988; 108(3): 497-511.
- 8) Ludmerer KM. A Library for Internists VII. Ann Intern Med 1991; 114(9): 811-29.
- 9) Brandon AN. Hill DR. Selected List of Books and Journals in Allied Health Science. Bull Med Libr Assoc 1984; 72(4): 373-91. 1986; 74(4): 353-73. 1988; 76(4): 346-67.
- 10) Owemann MH. Analyzing and Selecting Audiovisual Materials. Nurs Educ 1984; 9(4): 24-7.
- 11) Bischoff F. Audiovisual Services. In: Bradley J. Holst R. Messerle J. eds. Hospital Library Management. Chicago: Medical Library Association, 1983; 163-91.
- 12) Brandon AN. Hill DR. Selected List of Nursing Books and Journals. Nurs Outlook 1988; 36(2): 92-102.
- 13) Raskin RB. Hathorn IV. Selected List of Books and Journals for Small Dental Library. Bull Med Libr Assoc 1980; 68(3): 263-70.
- 14) Pneumocystis pneumonia-Los Angeles. MWR 1981; 30(21): 250-2.